

安来市政の推進につきましては、平素より格別のご高配を賜り深く感謝申し上げます。

本年5月に公表されました令和7年国勢調査結果速報値によりますと、安来市は令和2年と比較して3,495人の人口減となり、この間様々な対策を講じたものの、人口減少は想定を上回るペースで進行しております。こうした状況を踏まえ、令和8年度からを計画期間とする第3次安来市総合計画と第3期安来市創生総合戦略を策定しました。総合計画では、「ワザを磨き 安らぎをつむぎ シンカするまち」を将来像に掲げ、子育て支援の充実や雇用の場の創出、地域への愛着醸成などに取り組み、定住意識の向上を図っているところです。

島根県のカナエをいただきながら、スマートインターチェンジの整備や大規模工場立地をはじめとする切川地区の「新たなまちづくり」も進め、社会基盤等の整備や住民が豊かで安心できる持続可能な地域社会の構築を図ってまいりたいと考えております。

つきましては、本市の重点施策に関する要望事項を取りまとめましたので、事情をご賢察いただき、諸施策の実現に向けて特段のご配慮を頂きますようお願い申し上げます。

令和8年7月29日

安 来 市 長 田 中 武 夫
安来市議会議長 岩 崎 勉

目 次

【重点要望項目】

新たなまちづくりに対する支援について	．．．．． 1
島根かみあり国スポ・全スポの開催支援について	．．．．． 2
地域医療崩壊の危機を救う施策の早期実施について	．．．．． 3

【要望項目】

原子力発電所周辺自治体の安全確保対策について	．．．．． 4
安来インター線の早期完工等について	．．．．． 5
自転車歩行者道の整備について	．．．．． 6
県管理道の整備促進について	．．．．． 7
県管理河川の改修促進について	．．．．． 8
内水対策に対する支援について	．．．．． 9
広域観光及び外国人観光客誘致の推進について	．．．．． 10



新たなまちづくりに対する支援について

安来市切川地区については、安来市都市計画マスタープランにおいて将来市街地、将来市街地検討地として位置付け、新たなまちづくりの拠点となることを期待しているところです。

また、この新たなまちづくりに欠かせない周辺道路整備については、新規の事業化をはじめ、事業推進へのご支援をいただいているところです。

これらは安来市及び中海・宍道湖圏域の産業振興を図る上で、大型車等の物流を支える交通基盤の整備・充実に加え、原子力災害対策重点区域における広域避難体制の確立にも寄与するものです。

つきましては、次について、格別のご配慮をいただくよう要望します。



(1) スマートインターチェンジ周辺道路整備に対する支援

(2) (主) 安来木次線切川2工区の早期整備促進と今後の見通しについて



(1) スマートインターチェンジ
建設予定地の状況



(2) (主) 安来木次線切川2工区
整備状況

島根かみあり国スポ・全スポの開催支援について

令和１２年度に開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会（以下「国スポ・全スポ」）では、安来市民体育館及び安来運動公園庭球場において、４つの正式競技が行われる予定です。

両施設とも昭和５０年代に建設されたものであり、老朽化が顕著となっています。改修にあたり、国庫補助等の申請を予定していますが、求められる暑熱対策に加え、物価高騰も重なり、多額となる整備費用の財源確保が難しい状況です。

つきましては、国スポ・全スポが選手及び来場者にとって安心・安全な大会となるよう、施設整備等に係る支援について、格別のご配慮をいただきますよう要望します。



- (１) 引き続き国に対し、社会資本整備総合交付金の十分な予算確保と大会運営経費の補助支援の創設など、必要とする財政支援を強く求めること。



安来市民体育館（アリーナ）



安来運動公園（庭球場）

地域医療崩壊の危機を救う施策の早期実施について

安来市内に所在する2つの病院は、救急告示病院、地域医療拠点病院としての指定を受け、救急医療及び地域医療を提供する役割を担っていますが、近年では、必要な医師の確保ができないことから、特に救急患者の受入体制や在宅医療などによる医療資源の乏しい地域への医療提供が困難になっています。

また、安来市においては、慢性的・複合的な疾患を有する高齢者の患者の増加により、高齢者に多い疾患への医療の必要性が高まっている状況もあり、市内の医療提供体制の脆弱化の状況や市の人口減少、少子高齢化などの社会変化を見据え、将来にわたって持続可能な安来市の医療提供体制を確保するため、昨年度において、市内の2つの病院での協議結果として、医療提供体制の将来像を整理したところです。

今年度も引き続き、この将来像の実現に向けた構想づくりを進めており、安来市の持続可能な医療提供体制の確保に向けて、次について、格別のご配慮をいただくよう要望します。



- (1) 高齢者に多い複合的な疾患への対応や在宅医療、救急医療への対応など、幅広く総合的な医療に対応できる常勤の総合診療医の確保について支援を行っていただくこと。



- (2) 今後も増加が見込まれる高齢者に生じやすい傷病に対応するため、特に不足している常勤の整形外科医の確保について支援を行っていただくこと。
- (3) 安来市と市内の社会医療法人で検討を進めている、「安来市医療提供体制基本構想」について、引き続き積極的な助言、指導等の支援を行っていただくこと。

原子力発電所周辺自治体の安全確保対策について

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所で発生した事故は、放射性物質の拡散によって重大な原子力災害をもたらし、国民の原子力発電に対する信頼を大きく損ないました。同様な事故が島根原子力発電所で発生した場合、周辺自治体である安来市も多大な原子力災害を被ることになるため、次について、強く要望します。



(1) 原子炉設置変更許可など重要な変更等が行われる場合に、周辺自治体の意見等を反映する新たな制度の構築について、引き続き国に強く要請すること。

(2) 広域避難計画について、複合災害時や感染症などへの対策、避難車両の確保や避難ルート多重化など避難手段の確実な確保、住民への周知や理解促進など、「島根地域の緊急時対応」に基づく広域避難の実効性向上のため、引き続き防災訓練をはじめとする様々な取組を講じること。



(原子力防災訓練の様子)

(3) 使用済み核燃料については、発生者責任の原則を基本としつつ、安全かつ的確な保管・処理及び処分が確実に行われるよう、高レベル放射性廃棄物の最終処分地選定、再処理工場の稼働などの核燃料サイクル政策への対応を国が前面に立って着実に取り組むよう引き続き求めること。

(4) 全国で頻発する地震を踏まえて、災害時に必要となるライフラインの充実・強化や備蓄拠点の整備等、複合災害対策に必要な経費について財政措置を講じるとともに、国に対しても財政措置を講じるよう強く求めること。

安来インター線の早期完工等について

安来インター線は、安来道路の安来ＩＣと国道９号の接続路線であり、ＪＲ山陰本線を高架で通過し、広域ネットワークを形成する骨格道路であるとともに、現状の島田踏切通過を解消し、市東部中海沿岸部の工業団地を結ぶ安来市の交通ネットワークの重要路線です。

また、広域ネットワークとして中海架橋の構想があります。

つきましては、次について、格別のご配慮をいただくよう要望します。



(１) 安来インター線の早期完工

(２) 中海架橋建設連絡協議会（事務局：島根県土木部）の開催によるネットワークの現状把握



(１) 安来インター線の整備状況

自転車歩行者道の整備について

主要地方道安来・伯太・日南線は、地域住民の生活道路であるとともに、安来市から鳥取県日南町までを結び、経済活動や産業文化の発展に大きな役割を持つ、通行量の多い路線です。

同路線の吉岡地区などの整備が完了間近であり、引き続き道路（自歩道）整備による安全性の向上が急務となっています。

つきましては、次について、格別のご配慮をいただくよう要望します。



（１）主要地方道安来・伯太・日南線における自転車歩行者道の整備



（１）（主）安来・伯太・日南線の状況

県管理道の整備促進について

安来市の中山間地域における県管理道路は、地域住民が安心して暮らし続けるための生活道路であり、地域間のネットワークを形成する上で重要と考えています。そのため、交通の安全確保の観点から道路整備の促進は必要不可欠です。

つきましては、県道改良事業の早期推進について、格別のご配慮をいただくよう要望します。



- (1) 国道432号菅原広瀬バイパス 2工区
- (2) (主) 安来伯太日南線 六呂坂工区
- (3) (一) 草野横田線 東比田工区
- (4) (一) 本山伯太線 上小竹工区
- (5) 県道広瀬荒島線 自転車歩行者道



(1) 国道432号
菅原広瀬バイパス 2工区



(4) (一) 本山伯太線
上小竹工区

県管理河川の改修促進について

安来市では、平成23年5月豪雨および同年9月の台風12号により、市内各所で河川が氾濫し、住宅の床上浸水、農地の冠水、県道・市道の冠水による通行止めが発生し、孤立した住民の救助活動等を展開しました。

さらに、平成25年7月豪雨、平成30年9月豪雨・台風、令和3年7月豪雨等による災害が頻発する状況の中で、住民の安心安全を守るとともに企業活動の継続などに対応するため県管理河川の早急な治水、自然災害への被害軽減対策が必要と考えています。

つきましては、次について、格別のご配慮をいただくよう要望します。



(1) 吉田川、木戸川、蛇喰川、田頼川、津田平川の改修促進



田頼川の氾濫状況（令和3年）



津田平川の氾濫状況（令和3年）

(2) 県管理河川の計画的な浚渫



浚渫が必要な河川（吉田川）

内水対策に対する支援について

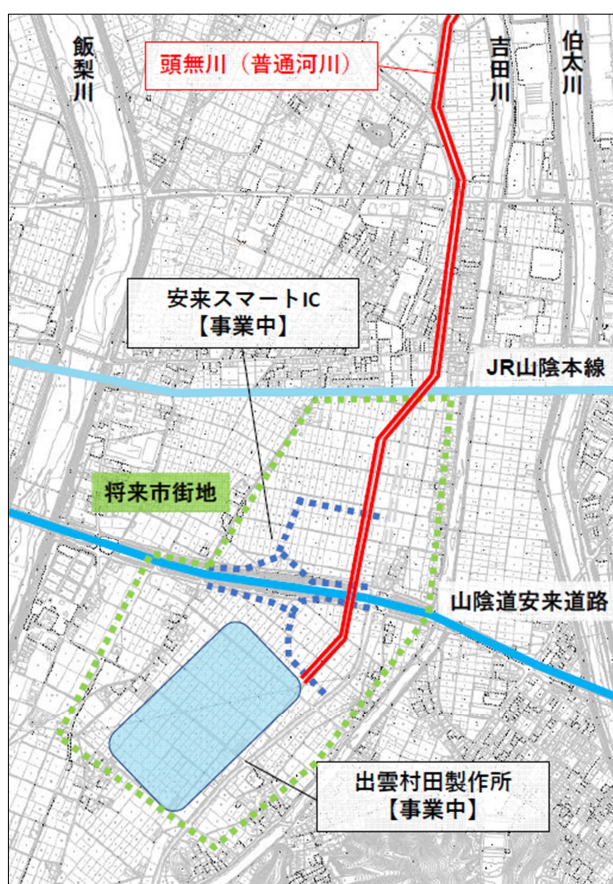
安来市が新たなまちづくりを進めている切川地区においては、企業立地に伴う防災調整池の流末となる頭無川（普通河川）があり、ＪＲ山陰本線の跨線橋が狭窄部となっており、河川断面の狭さと相まって、豪雨時に付近の浸水被害が発生する可能性が高まっています。

河川氾濫を軽減させる対策を行う必要があり、本年度から検討に着手したいと考えています。

つきましては、次について、格別のご配慮をいただくよう要望します。



（１）河川整備の検討にかかる技術的支援



整備検討箇所



河川状況

広域観光及び外国人観光客誘致の推進について

連続テレビ小説「ばけばけ」効果による観光客が増加しています。加えて、7月からは「VIVANT」の続編が放送されることによりロケ地への周遊も見込まれるため、ロケツーリズムの推進など観光誘客対策が必要です。

こうした状況を踏まえて、プロモーションの推進とともに、広域観光の推進及び観光客の周遊による消費拡大に向けた取組が重要であることから、観光誘客対策として、次について、格別のご配慮をいただくよう要望します。



- (1) 首都圏や関西圏、山陽地区はもとより、F D Aの就航先及び九州地方からの観光誘客を推進するため、プロモーション強化を引き続き図ること。
- (2) 日本遺産「出雲國たたら風土記」に関わる安来市、雲南市、奥出雲町を連動させた情報発信やツアー造成や、安来市において制作したN E O安来節（インバウンドや若者向けコンテンツ）も活用し国内外における認知度向上を図ること。
- (3) 外国人観光客の誘致策となる体験コンテンツの充実について、山陰インバウンド機構や中海・宍道湖・大山圏域観光局と一層の連携を図ること。



藍染め体験をする外国人観光客